

男女共同参画情報紙

2007. 12. 1

8号



いいきり羽生。夢みる羽生。

みらい

ひとひと
女と男 ともに輝く社会をめざして

特集

100人に聞きました!

— 定年(還暦)後の過ごし方 —



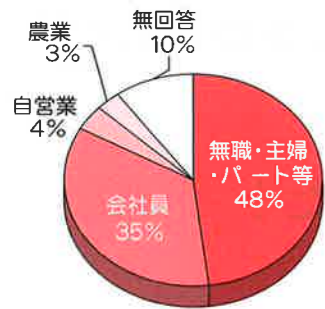
絵: 若菜ひとし・きよこ

どうする？あなたのこれから

～定年(還暦)後の過ごし方～

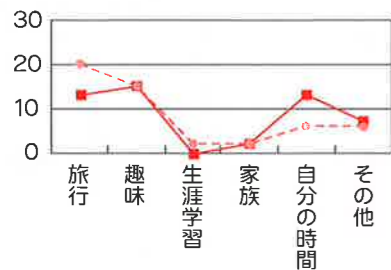
団塊世代が定年(還暦)を迎え、地域や家庭に戻り始めた今、定年後の生き方が注目されています。そこで、男女共同参画の視点から市内全公民館(9館)の協力を得てアンケートをとりました。各地域の団塊世代男女100人の回答から家庭・地域でのあり方について浮かび上がってくるものをまとめました。

現在の職業は？

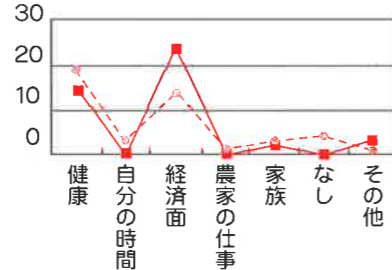


定年を迎えて

一番楽しみにしていることは？



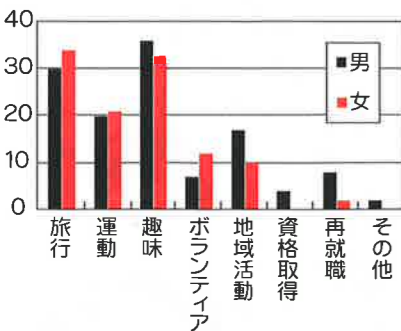
一番悩んでいることは？



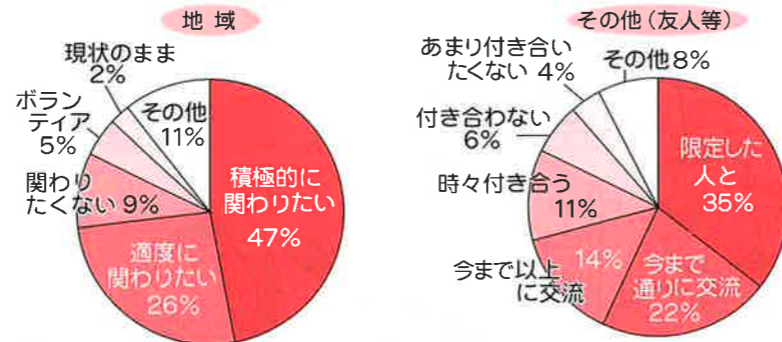
男女とも会社や仕事から解放され、お互いに旅行・趣味など自分の楽しみに時間をかけたいようです。また、悩みではやはり心配は経済面・健康面についてが大多数ですね。中には年齢的に自分はこれからゆっくと過ごしたいが、親の介護が目の前に控えている……という切実なコメントも。

定年後の生活

自分の時間をどう過ごしたい？

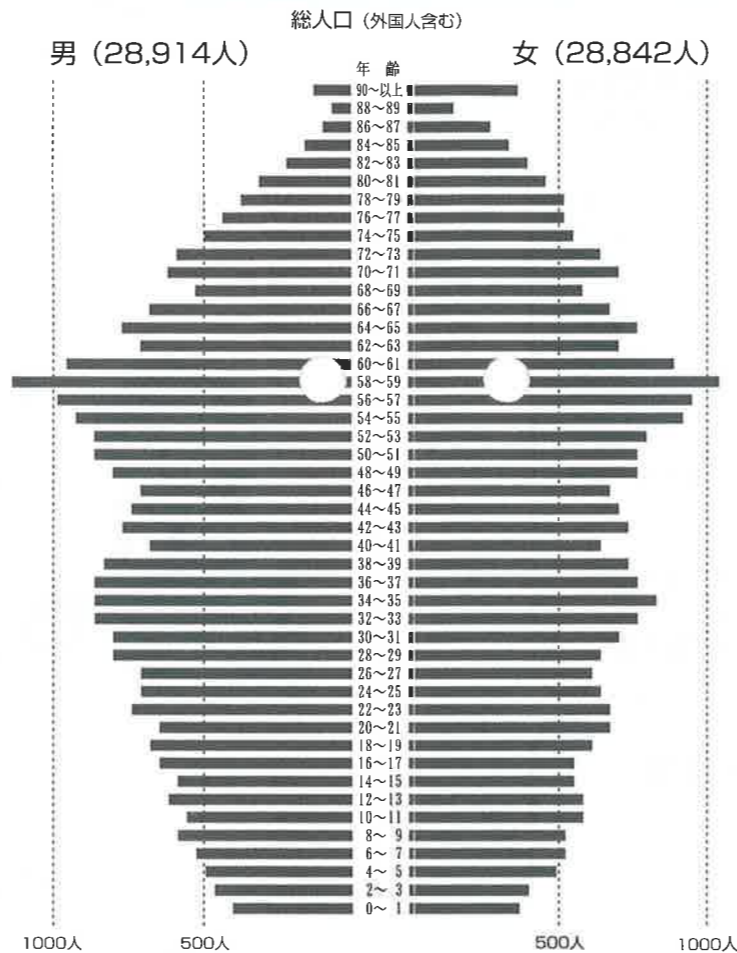


人とかかわり方は？



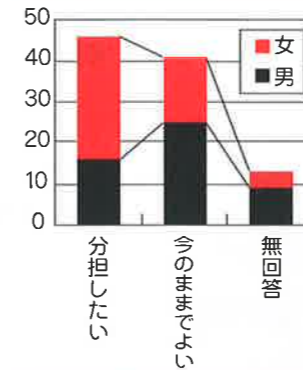
「地域とかかわりたい」という人が過半数以上いることは、大きな力です。市では今「市民協働」のまちづくりを進めています。そこでみなさんのこの「何かをやりたい」という気持ちを「〇〇をやる」という積極的なものに変えていってほしいものです。

●羽生市の人口ピラミッド● H19.11.1現在

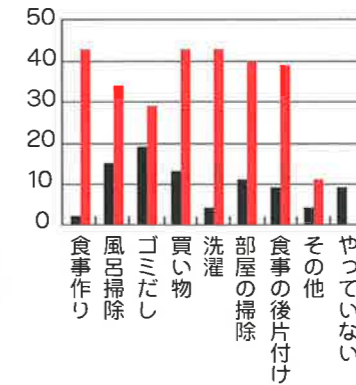


家庭生活

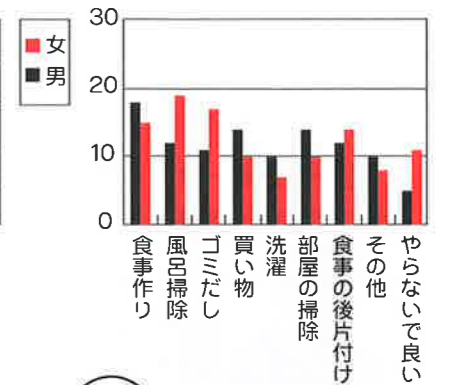
家事分担は？



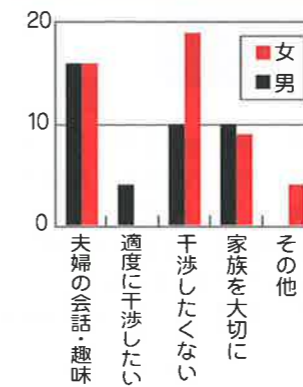
今している家事は？



これからやってほしい家事は？



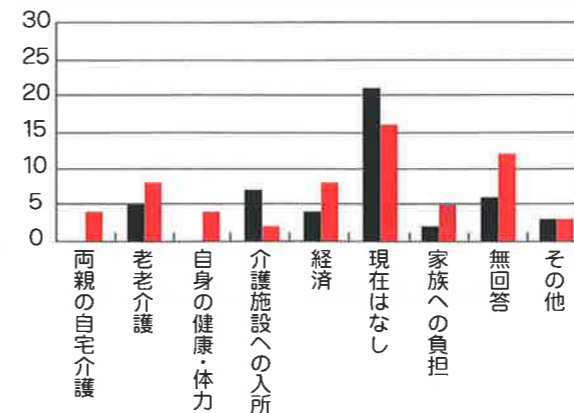
家族とのかかわりは？



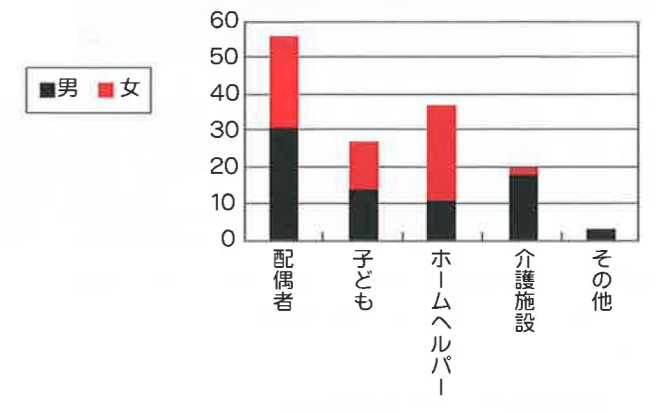
男女共同参画の意味はそれぞれの個性を生かしながら互いに協力しあうこと。そのためには、自立が絶対条件です。男女ともひとりでも、ひとりになっても生きられるだけの能力を少しずつつけていきましょう。男性が「家事をやりたい」と言っています…。女性のみなさんチャンスですよ…。

介護

介護のことで今悩んでいることは？



もしもの時誰に世話をしてもらいたい？



まだまだ自分自身が健康であり、切実な問題とは捉えてないようです。もしもの時、男性は配偶者・介護施設・ヘルパー。女性は、ヘルパー・配偶者の順になっています。男女とも介護施設等の充実により、施設やヘルパーを利用し、子どもに迷惑をかけないようにという考えがうかがわれます。少子高齢社会や生活環境の変化により親の面倒は「子どもが見る」・「嫁が見る」という考え方は大きく変わってきているのではないのでしょうか。あなたはどうかお考えでしょうか？

みらい掲示板

男女共同参画セミナー 多様な生き方に学ぶ

このセミナーは、各方面で活躍され、今、まさに輝いている人を順次お招きし、生き方、仕事振りを皆さんとともに学ぶことを目的に、昨年3月から「きらめく人シリーズ」として実施しております。

きらめく人シリーズ第2回（報告）

生き生きトーク 一凛として— 立石 愛子氏



生き生きトーク
一凛として—
講師 茶道華道家 立石愛子氏

昭和29年から現在まで茶道・華道教師として、女性の社会進出への先駆的な活動をされている立石愛子氏を囲んで、去る7月29日に講演会を行いました。

先生は、「ようこそお出ましを」という意味をこめて、会場に茶花の「むくげ」と

「かるかや」を涼しげに活けて、皆さんを迎えてくれました。

茶道・華道教師として、子育てをしながら働いてきたその長い経験を通しての苦労話や喜び等を伺いました。

「現役で仕事ができることは幸せ」「人と人とのふれあい」が大切」「今が幸せ」と語る91歳の先生。

清楚な着物姿で「今もまだ学びの日々である」と言われる先生は、まさに「凛として」の言葉そのものでした。

きらめく人シリーズ第3回

洋画家・一水会運営委員 講師 寺井 力三郎氏



東京芸術大学油画科卒業、油画専攻科修了。在学中大橋賞受賞。一水賞受賞。高崎芸術大学教授歴任。平成9年8月郵政省で、羽生市の宝蔵寺沼ムジナモ自生地を氏が図柄にした『ふるさと切手』を全国で発売。

- | | | |
|-------------------------------|---|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 日 | 時 | 平成20年3月1日（土）午後2時～4時 |
| <input type="checkbox"/> 会 | 場 | パープル羽生 多目的ホール |
| <input type="checkbox"/> 演 | 題 | 「絵と私」 |
| <input type="checkbox"/> 定 | 員 | 80名（空きのある場合は当日受付も可） |
| <input type="checkbox"/> 申し込み | | 2月末日までにパープル羽生へ |
| <input type="checkbox"/> 託 | 児 | 無料 ※2才から未就学児（要予約） |

パープルふれあい広場のご利用を！

パープル羽生では、たくさんの方々の「ふれあいの場」として、さまざまなジャンルの音楽や踊り・語りなどを取り入れて皆さんに楽しんでいただいています。

お友達を誘って、お気軽にお越しください。



開催日時 毎月第2日曜日 午後1時～3時（出入り自由）
会場 パープル羽生 多目的ホール

女性のための相談室 ～ひとりで悩まないで～

女性のさまざまな悩みの相談を女性の専門カウンセラーがお受けします。

夫・パートナーからの暴力で悩んでいるあなた。

ひとりで悩まずご相談ください。

秘密厳守・無料です。

- 日 時 毎月第2・4水曜日（祝日を除く）
正午～午後4時
- 要予約 電話 048-561-1681（羽生市女性センター）
- 相談専用電話 048-563-5272

編集後記

アンケートの結果はいかがですか。時間が自由になり楽しみを謳歌するとともに老後の心構えもしっかりと考えていくことがやはり必要ですね。この「みらい」がみなさんの話し合いのきっかけとなれば幸いです。 編集委員一同

発行 羽生市企画財政部企画課
〒348-0053 羽生市南5-4-3
羽生市女性センター（愛称 パープル羽生）
TEL 048-561-1681 FAX 048-562-1889
企画・編集 羽生市男女共同参画情報紙編集委員
表紙題字 羽生市長 河田 晃明